

# 調査・統計 NOW

## ■ 景気 (GDPと日銀短観)

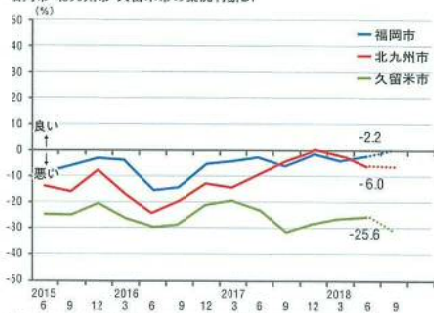
実質GDP(全国)及び日銀短観(全国、九州・沖縄の業況判断DI)



(資料)内閣府、日本銀行 本店、日本銀行 福岡支店

## ■ 景況(福岡市・北九州市・久留米市)

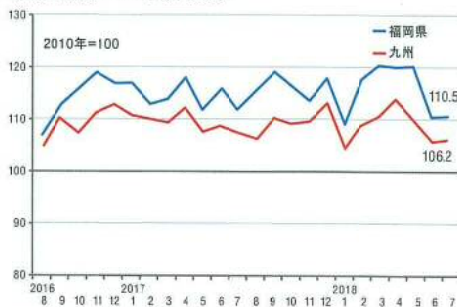
福岡市・北九州市・久留米市の業況判断DI



(資料)福岡商工会議所、北九州商工会議所、久留米商工会議所

## ■ 生産

鉱工業生産指数の推移(九州・福岡県)



(資料)福岡県、九州経済産業局

### ～実質GDPは2四半期ぶりのプラス成長～

■2018年4～6月期の実質GDP(2次速報値)は538億円で前期比0.7%増、年率換算で3.0%増となり、2四半期ぶりにプラスとなりました。企業の設備投資が好調に推移し、個人消費も堅調に推移したことから、2四半期ぶりのプラス成長となりました。

### ～全国の景況感は2四半期連続の悪化、九州・沖縄は4四半期連続の悪化～

■2018年9月の日銀短観の業況判断DI(全産業)は、前回6月調査に比べて、全国は1ポイント悪化(16→15)、九州・沖縄は2ポイント悪化(19→17)となりました。3か月先の見通しは、全国は3ポイント悪化(15→12)、九州・沖縄は1ポイント改善(17→18)となりました。

### ～福岡市、久留米市は改善、北九州市は悪化～

■2018年4～6月期の福岡県主要3都市における地場企業の業況判断DIは、前期に比べて、福岡市は2.0ポイント改善(▲4.2→▲2.2)、北九州市は4.0ポイント悪化(▲2.0→▲6.0)、久留米市は0.7ポイント改善(▲26.3→▲25.6)となりました。

■翌四半期(2018年7～9月期)の予測業況判断DIは前期に比べて、福岡市は2.4ポイント改善(▲2.2→0.2)、北九州市は変わらず(▲6.0→▲6.0)、久留米市は4.7ポイント悪化の(▲26.3→▲31.0)の見込みとなっています。

### ～福岡県の生産は4か月ぶりの上昇～

■2018年7月の福岡県の鉱工業生産指数(季節調整値)は110.5となり前月比で4か月ぶりの上昇となりました。内訳として、食料品・たばこ工業、鉄鋼業等が減少しましたが、電子部品・デバイス工業、金属製品工業等が増加しました。

### ～九州の生産は2か月ぶりの上昇～

■2018年7月の九州の鉱工業生産指数は106.2となり、前年同月比で2か月ぶりに増加となりました。はん用・生産用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等が減少しましたが、化学・石油石炭製品工業、輸送機械工業等が増加しました。

## ■ 公共投資(公共工事請負金額)

公共工事請負金額(福岡県)の推移



(資料)西日本建設業保証協

## ■ 住宅投資(新設住宅着工戸数)

新設住宅着工戸数(福岡県)の推移



(資料)国土交通省

(注)新設住宅着工戸数は、持家、賃貸、給与住宅、分譲住宅の合計を示す。

### ～公共投資は前月比2か月ぶりの増加～

■2018年8月の福岡県の公共工事請負金額は409億円(前年同月比12.0%増)となりました。発注者別にみると、「国」、「県」は増加。「市町村」、「その他公共的団体・独立行政法人等」は減少しました。

### ～住宅投資は前年同月比2か月ぶりの減少～

■2018年8月の福岡県の新設住宅着工戸数は前年同月比15.3%減の2,790戸となり、2か月ぶりに減少しました。利用関係別にみると、分譲住宅(同2.0%増)は増加しましたが、持家(同9.1%減)と賃貸(同24.9%減)は減少しました。

### ～機械受注は、持ち直しの動きに足踏みがみられる～

■2018年7月の全国における機械受注額(船舶・電力を除く民需)は9,186億円(前年同月比9.2%増)となりました。製造業・非製造業別にみると、製造業は4,268億円(同19.1%増)、非製造業(船舶・電力除く民需)は4,941億円(同4.7%増)となりました。内閣府は、7月の機械受注額の動向から民間企業設備投資の基調判断を「機械受注は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」としました。

(注)機械受注額(船舶・電力除く民需:季節調整値)は個別に季節調整を行っているため、製造業と非製造業の受注額合計は全体の受注額と一致しない。

## ■ 民間企業設備投資(機械受注額)

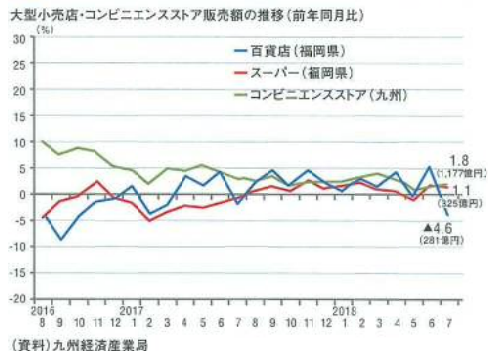
機械受注額(船舶・電力除く民需:季節調整値)の推移



(資料)内閣府

# 調査・統計 NOW

## 個人消費 (大型小売店、コンビニエンスストア)



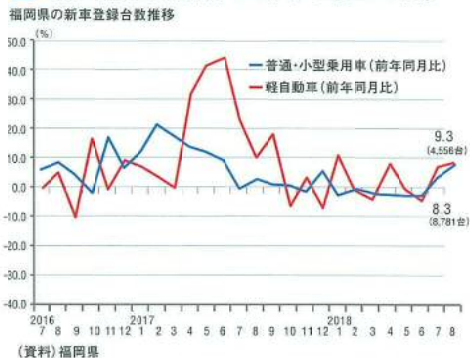
### ～百貨店は2か月ぶりの減少、スーパーは2か月連続の増加～

■2018年7月の福岡県の大型小売店販売額は、百貨店が281億円(前年同月比4.6%減)、スーパーが325億円(同1.1%増)となりました。百貨店は、台風や西日本豪雨、猛暑などの天候要因により客足が伸びず、売上が減少しました。スーパーは天候の影響を受けたものの、飲食料品等の動きが良く、売上が増加しました。

### ～コンビニは82か月連続の増加～

■2018年7月の九州のコンビニエンスストア販売額は、1,177億円(前年同月比1.8%増)となりました。ファーストフードや調理パン等の惣菜等が好調であり売上が増加しています。

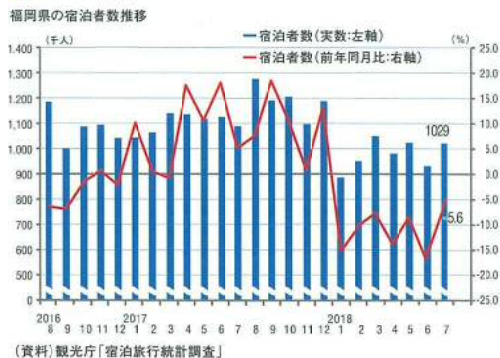
## 個人消費 (乗用車新車登録台数)



### ～普通車・小型乗用車、軽自動車ともに2か月連続の増加～

■2018年8月の福岡県における新車登録台数は、普通・小型自動車は8,781台(前年同月比8.3%増)、軽自動車は4,556台(同9.3%増)となりました。

## 宿泊者数



### ～日本人宿泊者数は7か月連続の減少・外国人宿泊者数は2か月連続の増加～

■2018年7月の福岡県の実宿泊者数は102万8,590人(前年同月比5.6%減)となりました。日本人、外国人別でみると、日本人宿泊者数は83万7,260人(同7.2%減)、外国人宿泊者数は19万1,330人(同2.6%増)となりました。前年同月に比べて日本人宿泊者数は7か月連続の減少、外国人宿泊者数は2か月連続の増加となりました。

## 雇用



### ～有効求人倍率は2か月連続の減少～

■2018年8月の福岡県の有効求人倍率は前月比0.03ポイント減少の1.61倍となりました。家具・装備品製造業、非鉄金属製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等が減少しました。

### ～残業時間は減少、パート求人は増加～

■2018年7月の雇用関連の先行き指標である福岡県の所定外労働時間は、前年同月比5.1%減の11.1時間、2018年8月のパートタイム有効求人数は同2.2%増の49,676人となりました。

## 所得



### ～給与は前年同月比減少～

■2018年7月の福岡県の給与は24万7,593円(前年同月比3.0%減)となりました。

■久留米市商工会議所が四半期毎に公表している「久留米地場企業業況調査」の2018年4～6月期の賃金DIは、2018年1～3月期に比べ23.5ポイント増の39.3となりました。

## 物価



### ～福岡市、全国ともに上昇～

■2018年8月の福岡市の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比0.6ポイント上昇の101.4となりました。費目別にみると、家具・家事用品、被服及び履物等が下落していますが、光熱・水道、交通・通信、教養娯楽等が上昇しています。

■2018年8月の全国の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比0.9ポイント上昇の101.2となりました。費目別にみると、家具・家事用品等が下落し、光熱・水道、交通・通信等が上昇しています。

# 調査・統計 NOW

## 貿易

福岡県の貿易推移



(資料)門可税関 (注)貿易収支=輸出額-輸入額

### ～輸出、輸入ともに増加～

■2018年8月の福岡県における貿易額は、輸出が4,763億円(前年同月比9.7%増)、輸入が2,323億円(同1.1%増)となりました。九州経済圏の主要品目の動向をみると、輸出は半導体等製造装置などが減少したものの、船舶や鉄道車両などが増加しました。輸入は液化天然ガスなどが減少しましたが、原油や石炭などが増加しています。

■2018年8月の福岡県における貿易収支は、2,440億円の黒字(輸出超過)となりました。貿易収支の黒字幅は前年同月比19.5%増となっています。

## 株価と外国為替

日経平均株価(月末終値)と外国為替(ドル、ユーロ 月中平均値)の推移



(資料)みずほ銀行、Yahoo!Finance

### ～日経平均は27年ぶりの高値水準～

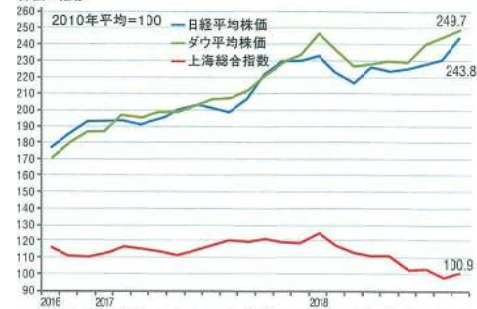
■2018年9月30日の日経平均株価は24,120円04銭となり、8月31日に比べて1,254円89銭上昇しました。外国投資家が買いスタンスを強めたことなどから、ほぼ27年ぶりの高値水準となりました。

### ～ドル/円、ユーロ/円ともに円安～

■2018年9月のドル/円レート(平均)は111.96円となり、前月比0円83銭のドル高円安となりました。ユーロ/円レート(平均)は130.64円となり、2円41銭のユーロ高円安となりました。

## 株価(アメリカ・中国との比較)

株価の推移



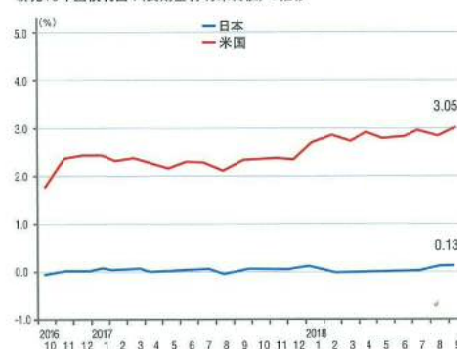
(資料)Yahoo!Finance

### ～日経、ダウ、上海ともに上昇～

■2018年9月30日の日経平均株価(2010年平均=100)は243.8となり、8月31日に比べて12.7ポイント上昇しました。ダウ平均株価は249.7となり同4.6ポイント上昇、上海総合指数は100.9となり同3.4ポイント上昇しました。ダウ平均株価は半導体のインテルや航空機のボーイングなどの銘柄が買われ、指数を押し上げました。上海総合指数は米国の追加関税発動に対して報復関税を発動したことで、米中貿易摩擦の激化懸念が強まった為下落しました。

## 長期金利

新発10年国債利回り(長期金利:月末終値)の推移



(資料)財務省、米連邦準備制度理事会

### ～日本の長期金利は4か月連続の上昇～

■2018年9月28日の日本の新発10年国債利回りは8月31日に比べて0.024%上昇し、0.134%となりました。依然として日銀のイールドカーブコントロールによって日本の長期金利は低水準で推移しています。

### ～米国の長期金利は2か月ぶりの上昇～

■2018年9月30日の米国の新発10年国債利回りは8月31日に比べて0.19%上昇の3.05%となりました。

## 預貸金

福岡県の預金、貸出金の推移(前年同月比)



(資料)日本銀行福岡支店、JA福岡信連  
(注)預金残高、貸出金残高は国内銀行及び農業協同組合の合計

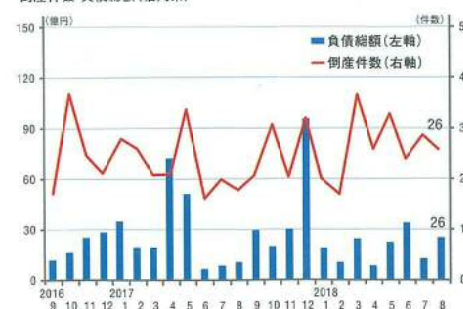
### ～貸出金、預金ともに増加～

■2018年7月の福岡県の貸出金残高は、前年同月比2.6%増の19兆4,580億円(4,932億円増)となりました。

■2018年7月の福岡県の預金残高は、前年同月比3.0%増の25兆8,915億円(7,469億円増)となりました。個人・法人預金ともに増加しており、個人では流動性預金が特に伸びています。

## 企業倒産

倒産件数・負債総額(福岡県)



(資料)東京商エリサーチ

### ～倒産件数、負債総額ともに増加～

■2018年8月の福岡県における倒産件数は26件(前年同月比8件増)、負債総額は26億1,000万円(同15億6,000万円増、148.5%増)となりました。産業別の倒産件数は、建設業(3→6件)、製造業(2→5件)が増加し、小売業(4→1件)が減少しました。また地区別の倒産件数は、福岡地区14件(前年同月比6件増)、北九州地区6件(同1件増)、筑後地区6件(同1件増)とすべての地区で増加しました。負債総額は建設業(0.7億円→5.9億円)、卸売業(0.5億→1.2億円)製造業(5.5億→10.1億)などが大幅に増加しています。